

## 「まわしよみ新聞劇」を2019年1月14日（成人の日）に開催 ～新聞を読んで語り、演劇で考える、大人の男と女～

舞台芸術の企画運営をしているUFOが、まわしよみ新聞を行った後に、参加者と一緒に演劇を作り発表し合う「まわしよみ新聞劇」を、2019年1月14日に福岡市男女共同参画推進センター・アミカスで開催いたします。

### ■イベントの主旨

男女が仕事や生活の中で、お互いに協力し合いながら、よりよい社会生活を営んでいくかについて、まわしよみ新聞+演劇づくりを行い、ことばをつくして考え、体を動かして体験する内容です。

### ■イベントの見所

これまで、まわしよみ新聞劇は10代～60代が参加し、語り合い、ことや、元ホームレスの方とのコミュニケーション講座で開催するなどしてきました。まわしよみ新聞は、新聞記事を通して集まった人たちの想いを共有するのにとっても有効な遊びです。演劇は、作った人たちの想いを相手に伝えるのに有効な体験です。この2つが合わさることで、テーマについてより深く楽しく考えることができます。

### ■これまでのまわしよみ新聞劇での出来事

#### 1：純粋な質問が受け入れられる

2018年に、長崎・佐世保の巨大防空壕「無窮洞」の見学ツアーとともに開催し、10代から60代の方が参加しました。小学生の「なぜ兵器が作られるの?」という質問をもとに演劇をつくる姿には、深く感動しました。

#### 2：これまで話さなかった過去の体験にふれる

元ホームレスの方とのコミュニケーション講座で行ってきました。参加者が、新聞劇を作っていく過程で「自分も、昔、震災の時にボランティア活動をしていて・・・」と、自らの体験を話し、演じることができました。この経験は本人にも、グループにも大きな喜びで受け入れられました。

こういった経験から、まわしよみ新聞劇を行うことで、人との隔たりを超えるきっかけづくりをつくるのではないかと考えています。

## ■開催概要

企画：まわしよみ新聞劇～新聞を読んで語り、演劇で考える、大人の男と女～

日時：2019年1月14日（月・祝）13:00～16:50

会場：福岡市男女共同参画推進センター・アミカス2階 視聴覚室

参加費：1,000円

参加申込：メール：ufo.fukuoka@gmail.com、電話：080-3965-4225

締切り：当日参加可能（定員に達していた場合不可）

参加資格：どなたでも。演劇未経験者大歓迎！

参加人数：定員15人

演劇創作：重松輝紀（バカダミアン）、田村さえ（灯台とスプーン）

進行役：五味伸之

主催：UFO

後援：福岡市（福岡市男女共同参画推進センター・アミカス）

協力：バカダミアン、灯台とスプーン

## ■プロフィール

重松輝紀：劇団バカダミアンの劇作家、演出家。政治的出来事を喜劇的要素をふんだんに取り込んだ演劇創作を行う。

田村さえ：灯台とスプーンという演劇団体の劇作家・演出家。女子大出身で団員が全員女性のため、女性主人公の演劇を作ることが多い。

五味伸之：「記憶とのつきあい方」をテーマに演劇活動を行う。プレイバックシアター、新聞劇、お化け屋敷演劇など、様々な上演形式の演劇作品の発表を行う。ナレーション、ワークショップ講師などを務める。

## ■主催団体概要

団体名：UFO（Underground Future Organizers）

代表者：五味伸之

所在地：〒810-0034 福岡県福岡市中央区笹丘 2-1-25-503

設立：2018年4月

事業内容：舞台芸術の企画・運営。

URL：<https://ufo-mikakunin.wixsite.com/home>

---

## ■本件に関するお問い合わせ先

団体名：UFO

担当者名：五味伸之

TEL：080-3965-4225

E-MAIL：ufo.fukuoka@gmail.com